

## 令和6年度第2回コンプライアンス委員会 議事録

### 1 開催日時

令和6年11月25日（月）午後1時30分から午後2時まで

### 2 開催場所

青海フロンティアビル14階（一部委員はオンライン参加）

### 3 出席者

#### （1）委員

越委員長、板倉委員、小玉委員、塩田委員、北島委員、小澤委員、  
小林委員、小田委員、松村委員、石井委員、野邊委員（外部委員）

#### （2）事務局

デフリンピック準備運営本部総務部総務・人事グループ

### 4 議事録

#### ○板倉委員

ただいまから、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部「令和6年度第2回コンプライアンス委員会」を開催いたします。まず、事務局より資料及び定足数の確認があります。

#### ○事務局

まず、資料の確認をいたします。資料は事前にメールにて送付しております。

はじめに「会議次第」続きまして、「委員名簿」及び「本委員会の設置要綱」があります。続きまして、議事1「デフリンピック準備運営本部コンプライアンス推進月間における取組」があります。続きまして、議事2「令和6年度内部監査報告」があります。最後に、その他として「第5回東京都における国際スポーツ大会のガバナンス強化に向けた有識者会議資料」があります。会議資料は以上ですが、不足はございませんでしょうか。

続いて「定足数の確認」をいたします。委員数は12名です。コンプライアンス委員会設置要綱第6条の規定より、定足数は委員の3分の2となっています。8名が定足数となりますが、本日の委員の出席は11名ですので、定足数を満たしております。従いまして、本日の委員会は有効に成立することを御報告いたします。事務局からは以上です。

#### ○板倉委員

それでは、議事に入ります。議事1「デフリンピック準備運営本部コンプライアンス推進月間における取組」について、説明をお願いします。

○小田総務・人事グループマネージャー

デフリンピック準備運営本部では、コンプライアンス推進のため、12月1日から同月31日までの期間をコンプライアンス推進月間と定め、コンプライアンスのより一層の推進に向けて3点の取組を実施いたします。

1点目は業務点検表です。理事長及びデフリンピック準備運営本部内全職員を対象として、一般職員用・管理職用の「東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部コンプライアンス推進のための業務点検表」を用いて、職員一人ひとりがチェックを行います。

2点目は職場討議です。各グループで4つの事例のうち1つを選択し、当該事例についてグループ内で意見交換を行います。討議後は結果を所属長に報告し、所属長からのフィードバックを受けることとしております。

3点目は意見交換です。生活文化スポーツ局の取組を踏まえ、コンプライアンス推進月間において、「効果的な情報発信」と「ルールの十分な理解」について意見交換を実施します。意見交換後は結果を所属長に報告し、所属長からのフィードバックを受けることとしております。

説明は以上でございます。

○板倉委員

本件に関しまして、御質問、御意見等をお願いいたします。

(質問・意見なし)

○板倉委員

続きまして、議事2「令和6年度内部監査報告」について、説明をお願いします。

○塩田委員

「令和6年度内部監査報告書」について御説明いたします。今年度は、大会準備が本格化することから、東京都のガイドラインや令和5年度の監査室ヒアリングの際の意見等を踏まえて、適切なガバナンス体制の確保、状況を踏まえた適切な見直し等の観点により、内部監査を実施しました。

報告書の3ページ、4ページを御覧ください。「重点監査」では、不正の未然防止、早期発見のため、デフリンピック準備運営本部内において生じるおそれがあるリスク及びそ

の未然防止策等について、最高執行責任者である本部長及び各部シニアマネージャーにヒアリングを実施しました。本部長には、大会準備を進めるに当たり、適切なガバナンスの確保、準備運営本部全体の運営のあり方等についてヒアリングを実施しました。その結果、コンプライアンス委員会を定期的で開催し、外部有識者の視点も取り入れてガバナンスの進捗状況を確認していること、今年度から職員構成も多様化しているため、改めて法令遵守や妥当性の確保などの視点を持って業務に取り組んでいくことなどについて確認しました。

次に、4ページ下段から6ページを御覧ください。各部のシニアマネージャーのヒアリングでは、適切なガバナンス体制を確保するための取組や、業務プロセスにおいて、定期的な見直しが行われていることなどを確認しました。

次に、6ページから8ページ上段を御覧ください。「業務監査」は、契約事務、会計事務、文書事務、サービス管理、情報管理等について、適正性、経済性、透明性、説明責任の担保等の観点から実施しました。契約事務については、令和5年度及び6年度第一四半期までの全ての契約関係書類を確認したところ、適正に処理されていました。会計事務や文書事務については、新規着任者に悉皆研修を行っていることを確認するとともに、関連書類などを確認した結果、適正に処理されていることを確認しました。サービス管理については、出退勤処理システムを活用し、適正に運用されておりました。ただし、出張処理のうち宿泊を伴う出張については、出退勤管理システムではなく、別途起案による処理を行っており、運用面で一部、統一されていない点が見られたため、個別に改善依頼をしております。情報管理については、全職員悉皆の情報セキュリティ研修を実施しており、適正な運用を行っていることを確認しました。寄附・協賛事務については、令和6年6月末までの全件を確認した結果、すべて適切に処理されておりました。なお、寄附及び協賛において利益相反に関する問題はありませんでした。

次に、8ページを御覧ください。「3 ガバナンスセルフチェックリストの対応状況確認」でございます。昨年度に続いて、スポーツ庁の指針に示されているガバナンスセルフチェックリストに基づき、制度や規程について、適切な運用や手続がなされていることを所管部署に確認しました。令和6年8月末の段階で、おおむね95%以上が「対応済」及び「代替措置実施済」であり、「対応予定」となっている項目については、引き続き確認を行ってまいります。

次に、9ページを御覧ください。「4 監査機関同士の意見交換」には、令和6年6月5日に実施しました意見交換の概要をまとめております。

次に、10ページを御覧ください。「5 総括」で今年度の内部監査の総括をしております。重点監査では、本部長及び各シニアマネージャーへのヒアリングを実施し、準備運営本部全体で不正及びリスクの未然防止や早期発見に向けて、具体的に対策を講じているとともに、チェック体制が取られていることを確認しました。ヒアリングの中で、職員の増加や職員構成の変化、外部との接触機会が増加する状況において、適切なガバナンス体制

を確保するための取組として、外部と接する際には、必ず複数で対応するとともに、外部への情報共有を行う際には、関係部署との確認や、管理職に事前に承認を得るなど、情報管理が徹底されていることを確認しました。業務監査では、庶務業務や契約・会計業務においても、各所管が関係部署と連携し、準備運営本部全体を総括するとともに、規程等に基づき適切に手続を実施していることを確認しました。なお、指摘事項には至りませんでした。なお、指摘事項には至りませんでした。なお、指摘事項には至りませんでした。10月に実施した悉皆研修で再度周知を図るなど、改善等を図っております。令和7年度の大会開催に向けて、大会運営を公正・公平に実施していくために、大会運営に関する契約事務について職員が手続きやルールを遵守した上で業務に取り組んでいるか等について、引き続き確認していくことが重要となります。また、大会を支える都民や企業などによる寄附・協賛事務については、職員が基本的なルールや手続を適切に実施しているかについても確認していく必要があります。これらの観点から、令和7年度の内部監査は、令和6年度の監査室ヒアリングを踏まえて、より適切なガバナンス体制の確保やリスクアプローチ等の観点から、大会運営に係る契約事務及び寄附・協賛事務を重点監査項目として重点監査を実施します。また、契約事務、会計事務、文書事務、サービス管理、情報管理等については、令和6年度の内部監査の状況等を踏まえ、法令等の遵守の一層の徹底が図られているかという観点から、業務監査を実施してまいります。

説明は以上でございます。

#### ○板倉委員

それでは、本件に関しまして、御質問、御意見等をお願いいたします。

(質問・意見なし)

#### ○板倉委員

続いて「その他」といたしまして、11月5日に行われました「ガバナンス強化に向けた有識者会議」について、共有させていただきます。世界陸上及びデフリンピックの大会運営組織におけるガバナンスの取組状況等について、「国際スポーツ大会への東京都の関与のガイドライン」を策定した有識者会議のメンバーにより、取組状況の確認等がありました。有識者からは、現在の状況について質疑いただき、一定の評価をいただきました。引き続き、本委員会における審議や継続的なコンプライアンス研修の実施等により、デフリンピック準備運営本部のガバナンスの確保に向け取り組んでまいりますので、御理解御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

その他、皆様から何か御意見・御質問等がありましたらお願いいたします。

(質問・意見なし)

それでは最後に、専門家の視点から御意見等お伺いできればと思います。野邊先生、よろしく願いいたします。

○野邊委員

議事1のコンプライアンス推進月間について、全職員に向けた取組を行うことで、デフリンピック準備運営本部のコンプライアンスの意識が高まると思います。点検表に加えグループディスカッション等も行われると思うので、この機会を通じて、改めて職員の方々にコンプライアンスの意識を持ってもらえるよう取り組んでいただきたいと思います。また、議事2の内部監査について、複数名で対応するといったことを対策として行っているということで、不正が起こる機会を防ぐことが重要だと考えております。このような取組を引き続き継続して行っていただき、コンプライアンスを確保し、大会の成功に繋げていただきたいと思います。

○板倉委員

ありがとうございました。それでは本日の委員会は終了といたします。  
貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。